

平成20年度八重山群島病害虫発生予報第3号(6月予報)

6月の気象予報

向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	平均気温	降水量	日照時間
高い(多い)	40	30	40
平年並	40	30	40
低い(少ない)	20	40	20

(平成20年5月23日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

地点別の平均値

	平均気温()	最高気温()	最低気温()	降水量(mm)	日照時間(h)
八重山群島(石垣島)	27.9	30.3	26.0	185.7	214.0

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

6月の発生予報および防除上の注意事項

八重山群島

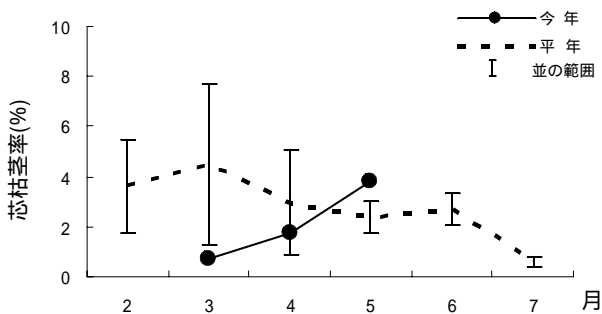
1 さとうきび

(1)メイチュウ類

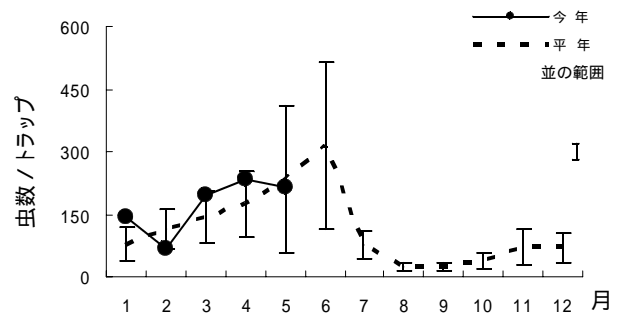
発生程度 : やや多

予報の根拠

- 5月下旬の調査の結果、新植春植での芯枯茎率は3.8%(前年2.3%、平年2.4%)と平年よりやや高かった。
- 5月のカンシャシンクイハマキ合成性フェロモントラップ調査によるトラップ当たりの誘殺数は212頭(前年292頭、平年235頭)と平年並であった。



さとうきび新植春植における芯枯茎率の推移



カンシャシンクイハマキの誘殺虫数の推移

防除上注意すべき事項

- 有効分けつ期の芯枯れ防止をねらい、食入初期の幼虫を対象にした薬剤防除を行う。
- 高培土時に他の土壌害虫の防除も兼ねた薬剤(粒剤)を選定し、施用する。

2 マンゴー

果実肥大期～成熟期の病害虫防除対策

- a 5月中旬の調査の結果、一部の施設で炭疽病、軸腐病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類の発生が見られた。
- b 罹病した葉や枝等は施設外へ持ち出し処分し、施設内の通気を良くするとともに袋かけの前に薬剤による防除を徹底する。
- c チャノキイロアザミウマの発生源となる不必要な新梢はビニール袋に入れるなどして、施設外へ持ち出し処分する。
- d チャノキイロアザミウマやハダニ類は水に弱いので、多発園では晴れた日に灌水を兼ねて動噴で洗い流すことも密度を下げるのに有効である。
- e チャノキイロアザミウマは薬剤抵抗性を発達させやすいことから、同系統薬剤の連用をさける。

3 オクラ

オオタバコガの防除対策

- a 若齢幼虫は昼夜を問わず摂食するが、老齢幼虫は日中は葉裏や果実などに潜み、夜間に摂食する。
- b 剪定残渣には幼虫が寄生している可能性があるので、圃場内に放置せずビニール袋等に密封し、圃場外へ持ち出し処分する。
- c 本種は葉のみならず花序や果実も食害することから発生初期の薬剤防除を徹底する。